

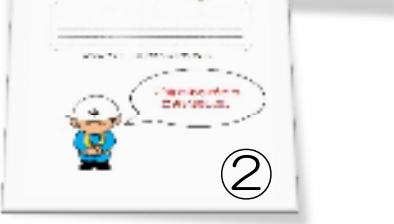





件名	湧水利用のビオトープと生きものアートによるメッセージ発信	
発表者 所属	環境政策局 適正処理施設部 北部クリーンセンター	
改善前 (課題等)	北部クリーンセンターでは、入口トンネルの脇から出る湧水が国道の歩道にまで達して路面を濡らすため、通行される市民の方から対策要望があり、その湧水の排水対策を兼ねた活用方法が課題になっていた。	
内容	<ul style="list-style-type: none"> センターは、京都環境マネジメントシステムスタンダード（KES）の取組の一環で、平成26年度から施設内の緑化や希少植物の育成再生に取り組んでおり、平成27年10月から平成28年度にかけては、市民が利用する歩道路面の脇水対策も兼ね、当センター入口トンネルの脇から出る湧水を活用して、「生態系の復元」をテーマにしたビオトープを整備した。 ビオトープには、単なる池にならないよう職員が試行錯誤を重ね、池と側溝の水量を調節するオーバーフロー管や池の水の循環ろ過装置を設置するなど創意工夫した結果、池では、希少な生きものの生息が可能で、かつ、大雨が降ったときの氾濫や夏の湯水時にも対応できる機能も兼ね備えたものとなった。 ビオトープ内にある電気盤には、より多くの市民の方に本市の生物多様性豊かな環境づくりを広く周知しようと考え、クリーンセンターで保全・育成をしている植物や昆虫、自然に集まる鳥など、四季ごとに移り変わる生きものアートを職員が描いた。 	 
効果	<ul style="list-style-type: none"> 整備したビオトープが、歩道を濡らしていた脇水対策の役割を果たし、併せて池では、ニホンメダカやニホンザリガニなどの希少な生きものが生息できたこと、モリアオガエルなど自然に生きものが集まってきたことから、クリーンセンター敷地からの湧水が安全であることを確認できた。 また、上記の情景を市民に思い浮かべていただくため、職員が生きものアートとしてビジュアル化したことは、クリーンセンターが生物多様性豊かな環境づくりにも積極的に取り組んでいるというメッセージ効果が望めるため、より市民から親しまれる施設として評価を高められる。 	

件名	“1UP” 伝える力・窓口サービス向上 プロジェクト
発表者 所属	建設局 土木管理部 道路明示課
改善前 (課題等)	<p>当課は、窓口対応や明示の立会いが主な業務であり、交渉力や伝える力の向上が求められる。</p> <p>今回のプロジェクトで、以下の課題を改善することにより、職員一人一人が、交渉力や窓口サービス向上に繋がる“伝える力”を1ランクレベルアップ（1UP）することを目指した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①明示の立会いに必要な交渉力や伝える力の共有 ②受付窓口の混雑
内容	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>①</p>  </div> <div style="flex-grow: 1; border: 1px solid blue; padding: 10px; text-align: center;"> <p style="color: orange; font-size: 1.2em;">①立会心得八箇条の作成</p> <p style="color: orange; font-size: 1.2em;">②アンケート調査による改善</p> </div> <div style="margin-left: 20px; text-align: right;"> <p>建設局 イメージキャラクター せっちゃん</p>  </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>②</p>  </div>
効果	<p>プロジェクト実施後、次の効果を得ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①課内研修を行うことで情報の共有、業務の理解力、交渉力及び伝える力のレベルアップが図れた。 ②受付窓口でアンケート調査を行うことにより、課題の抽出ができた。その課題のうち、タッチパネル（図面等の検索システム）の不具合は、マウスを使用することによって解決し、それが市民サービス向上に繋がった。 <p>また、この取組は若手職員が中心になり、資料作成や会議の進行を務めた経験が個人スキルのレベルアップに繋がった。</p>

件名	「花と笑顔で”きたく（北区）なる”区役所！」プロジェクト	
発表者 所属	北区役所 改革実践チーム	
改善前 (課題等)	<p>◆北区役所庁舎敷地内の花壇は、雑草が伸びきっており、色鮮やかな花苗を植えても雑草が目立ち、見栄えが良くない印象であった。</p> <p>◆北区の人口減少が進んでいる。</p>	
内容	<p>◆庁舎花壇のリニューアル</p> <p>「より明るく、より美しく」を目標に、北区役所庁舎周辺花壇の整備に取り組んでいる。庁舎内に募集チラシを配架して、区役所花壇に植樹する花の苗や種を市民の皆様にご募集しており、また、北区すこやかクラブ連合会や華茂園芸（北区生花店）の皆様にご協力をいただき、花苗の植樹作業や水やり等の管理作業を行っていただいている。上賀茂神社を拠点とする特定非営利活動法人葵プロジェクトにもご協力をいただき、正面玄関付近にフタバアオイを植樹した。</p> <p>◆send a smile プロジェクト</p> <p>北区では人口減少社会を少しでも食い止め、子育て推進を図るため、北区で赤ちゃんが生まれた御家庭に対し、背守りをモチーフとした「刺繍入りガーゼハンカチ」と「お祝いメッセージカード」をお贈りしている。伝統工芸品を製作している産学公連携事業「京都職人工房」のメンバーが「刺繍入りガーゼハンカチ」を製作されており、多くの皆様にご好評をいただいている。</p> <p>赤ちゃんの命を守る魔除けとして知られる「背守り」には、子どもが健やかに育つようにと願う気持ちが込められている。</p>	  
効果	<p>◆地域の団体と連携して花壇整備に取り組むことで、区役所の玄関窓口である花壇が明るく美しくなり、市民の皆様がより身近に感じていただけるような「おもてなし」の花壇に生まれ変わった。</p> <p>◆背守りについて、より多くの利用者に知っていただくことができ、ガーゼハンカチも育児で使用できるので、御好評いただいている。</p>	

<p>件名</p>	<p style="text-align: center;">Try! Restart! ～命を救え人力車～</p> <p style="text-align: center;">「地域内巡回型AEDの設置について」</p>
<p>発表者 所属</p>	<p style="text-align: center;">消防局 東山消防署</p>
<p>改善前 (課題等)</p>	<p>一般的にAEDは施設に設置され、利用者に対する使用が想定されており、歩行者（市民や観光客）の見守りのためという存在ではなかった。</p>
<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> • AED活用が低調に留まる理由（AEDによる除細動実施率は4%）とは？ <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> • もし、常に地域内を巡回しているAEDが存在し、適切に活用できる者がその場にいたなら・・・ <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> • 区内で人力車を運用する業者に対する普通救命講習の実施時に移動型AED設置を提案、そして実現！ <div data-bbox="840 922 1256 1246" data-label="Image"> </div>
<p>効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の救命率の向上 • 同業他社を含め、他運送業者等への波及 • 安心・安全のまち京都（東山）の実現

件名	みんなで「ミニプレ」発信力向上プロジェクト		
発表者 所属	消防局 右京消防署		
改善前 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 門川市長の平成28年年頭訓示 「発信力を高め、伝える力を大切にする。」 ・ 消防署は、日常業務の中で町内や学区での防火防災指導や事業所指導で、比較的人前で話す機会が多い。 ・ 一方、世代交代により若手職員が急激に増え、現場活動能力の向上だけでなく、日常業務の説明力や資料作成能力についても即戦力として養成していくことが必要。 		
内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【発信力の向上】 ～年度当初の署長マネジメント～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人に伝わる分かりやすい資料づくりを目指そう ・ 伝える力を磨こう </div>	⇒	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【きょうかんプロジェクトテーマの職場ミーティング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ミニプレゼンテーションをやろう ・ 全員でやろう ・ いいプレゼンはみんなに広めていこう </div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ミニプレの進め（その1）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全員が参加（課長補佐以下138人） ・ 発表資料はワンペーパーで見やすく ・ 業務に関するもの。趣味の分野OK ・ 作成資料の共有化（共有フォルダで自由に閲覧） </div>	⇒	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ミニプレの進め（その2）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まずは、それぞれの部署で身近なメンバーの前で実施 ・ 分かりやすく効果的に伝わったプレゼンは、毎月の署長訓示の場で、多くの職員にもう一度実施 ・ さらにビデオ回覧で、職員全員に周知を図る </div>
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワンペーパー作成能力と発表能力がスキルアップ ・ 身近なメンバーでの意見交換が盛り上がり、職場の意思疎通もアップ ・ 趣味の分野では、興味を持った職員が自分の趣味に活かし、ワークライフバランスにも効果を発揮 ・ 資料のライブラリー化を図ったことで職員の知恵の泉となり、業務資料や話題のネタとして活用するなど、取組効果を職場全体で共有 		

<p>件名</p>	<h2>写真と動画でわかる！列車検査</h2>
<p>発表者 所属</p>	<p>交通局 高速鉄道部 車両工場竹田検車区</p>
<p>改善前 (課題等)</p>	<p>列車検査とは、検車区において最も頻度の多い検査である。 ⇒列車検査の研修期間は3日間しかないが、 作業のボリュームが大きく、新規配属者が習得するには約半年間かかるという課題があった。</p>
<p>内容</p>	<p>【改善内容】 列車検査の早期習得を目的とした列車検査手順書を作成した。</p> <p>【工夫した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 手順書には文字より写真を優先して使用し、視覚的にわかりやすくした。 • 作業の流れを把握するため、手順書に動画を加えた。 • 検車区内のベテランの減少に伴い、 技術継承が必要となっていたため、ベテランの知識を多く取り入れた。 <div style="text-align: right;">  <p>地下鉄に乗るっ</p> </div> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>交通局応援キャラクター：太秦萌</p> </div>
<p>効果</p>	<p>新規配属者の列車検査習得にかかる時間が、改善前は半年であったのに対し、改善後は30日となった。</p> <p>➡ ① 列車検査の習得が早くなったことで、他の作業の習得に時間が割けるようになった。</p> <p>➡ ② 技術継承を行った手順書を職場全体で共有できた。</p> <p>➡ ①, ②によって検車区全体の作業の質が向上し、 車両故障の未然防止、営業線内での遅延を防止することが期待できる。</p>

件名	車両クーラー水漏れ防止大作戦！																	
発表者 所属	交通局 高速鉄道部 車両工場 醍醐検車区																	
改善前 (課題等)	<ul style="list-style-type: none"> 東西線 50 系車両において、水がクーラー内に溜まる問題が発生 上記に起因して客室への浸水や、漏電など車両運行を阻害する問題が発生していた。 																	
内容	<p>【原因の解明】</p> <ul style="list-style-type: none"> 前例のない問題であったため、多様な意見を募るべく職場全員でのブレインストーミングを実施 →<u>全員参加での問題解決の実施</u> 集約した意見を元に「なぜなぜ分析」を実施し、原因を突き止めることに成功した。 →<u>問題解決手法の利用により、最速で最適な原因究明を実施</u> <p>【対策の立案】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「なぜなぜ分析」の結果から、最も有効な対策案を立案 →<u>対策実施までの準備期間削減に成功</u> 上記対策案に対して、「コスト」、「作業性」の改善を実施 →<u>公営『企業』として求められる対策案とする事に成功</u> 																	
効果	<ul style="list-style-type: none"> 対策案により水漏れが防止できていることを確認できた。 右に示す様に<u>コスト、作業への所要時間の双方において優れた対策</u>となった。 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">対策案</th> <th style="text-align: center;">想定コスト</th> <th style="text-align: center;">所要時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対策品クーラーへの交換</td> <td style="text-align: center;">4~8億円</td> <td style="text-align: center;">順次交換のため 4年以上 必要</td> </tr> <tr> <td>適宜クーラーからの水抜き</td> <td style="text-align: center;">250万円</td> <td style="text-align: center;">3時間</td> </tr> <tr style="background-color: yellow;"> <td>対策スポンジ設置</td> <td style="text-align: center;">35万円</td> <td style="text-align: center;">30分</td> </tr> <tr> <td>クーラー使用頻度減少</td> <td style="text-align: center;">無し ただしお客様サービスが大きく低下</td> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> </tbody> </table>		対策案	想定コスト	所要時間	対策品クーラーへの交換	4~8億円	順次交換のため 4年以上 必要	適宜クーラーからの水抜き	250万円	3時間	対策スポンジ設置	35万円	30分	クーラー使用頻度減少	無し ただしお客様サービスが大きく低下	無し
対策案	想定コスト	所要時間																
対策品クーラーへの交換	4~8億円	順次交換のため 4年以上 必要																
適宜クーラーからの水抜き	250万円	3時間																
対策スポンジ設置	35万円	30分																
クーラー使用頻度減少	無し ただしお客様サービスが大きく低下	無し																

件名	ろ過池のしくみがスカッとまる見え！
発表者 所属	上下水道局 水道部 蹴上浄水場
改善前 (課題等)	<p>蹴上浄水場ではつつじの開花時期に合わせた一般公開と小学校等の社会見学を随時行っているが、浄水施設のろ過池を上から見ただけでは、水がどのように流れてろ過しているのか、またろ過砂の洗浄作業とは何なのかを、一般の方に理解していただくことが難しかった。特に小学生の社会見学では、丁寧に説明していたが、言葉だけの説明では難しかった。</p>
内容	<ul style="list-style-type: none"> ろ過池の断面がわかる模型、ろ過砂の洗浄作業がわかる模型の2種類製作した。 模型を展示し、職員が一般公開や社会見学においてろ過池の説明を行う際の教材とした。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>
効果	<ul style="list-style-type: none"> 一般公開において、ろ過池の仕組みを説明するブースを設置したところ、お客さまとコミュニケーションをとるきっかけになり、大変好評であった。 小学校の社会見学においても、ろ過のしくみがイメージしやすくなり、小学生にも理解を深めていただくことができた。 職員が全体を通して自主的に取り組んだことで、職員に満足感、達成感、連帯感が生まれた。また、見学会の度にPDCAを繰り返すことで、継続的に業務改善していく職場風土が構築できた。